

看護師になる前に

白頭から世代を超えた地域のコミュニケーションの場に積極的に参加してください。コミュニケーション能力がないと、患者さんとの関係性が築けず、命に関わる情報が得られないこともあります。看護技術は経験を積みれば何とかなるものです。

どんな仕事ですか？

看護師は、その人がその人らしく生きていくことを医療と生活の両面から支える仕事です。病院や診療所などの医療機関のほかに、訪問看護ステーションや介護・福祉関連施設など、活躍する場はたくさんあります。



看護師

小 山 亜 弥 さん
しものせき しゅうしん
下関市出身

この仕事の魅力は？

患者さんは、病状だけではなく身の上話もしてくれます。患者さんから教わることは多く、人として成長する機会が多くあります。退院した患者さんと、病院ではなく街中で出会い、元気な姿を見られたときはうれしいですよ。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

実現したい看護がある

看護師の仕事は、医師の医療行為の補助、患者さんの看護などですが、私が最も大切にしてるのは、患者さんとのコミュニケーションです。脳神経筋センターよしみず病院の専門の一つである神経難病は、治る見通しが立たず余命が決まっていることも。患者さんが生きる望みを持ち残された時間の中でやりたいことを叶えられるよう、思いやりと優しさを持って看護をする必要があります。患者さんにとって一番近くにいる存在でありたいです。

地域に必要とされるために

病院それぞれに得意分野があって、地域に必要とされる病院であるように取り組んでいます。地域の方々がすぐに相談できて、困ったときには病院が対応できる関係性が「地域に根ざした医療」だと私は思います。地域に必要とされる下関の看護師として私たちと一緒に働きませんか？

▼日本看護協会
「キラリ！看護のシミュレーション」



山口県看護協会主催「まちの保健室」。地域貢献として、市内の看護師が健康チェックをします。不定期開催。



外国人も日本人と一緒に仕事をしています。

